

農林水産大臣賞

農事組合法人 庄の夢 (熊本県 山鹿市)

農業を核として、地域住民が一体となって農業の発展を中心に様々な世代を超えた取組に積極的に取り組む持続可能な地域づくり

1. 地区の概要

山鹿市庄地区は、県北部の内陸に位置し、八方ヶ岳を源とする上内田川流域(菊池川水系)に美しい田園が広がる水田地帯であり、稲作が盛んであるとともに、菊やイチゴ等の施設園芸作物が栽培されており、多様な品目の農業経営が展開されている。しかし、農家の高齢化、後継者不足も背景に、急速な農家の減少が課題になっていた。

2. 団体の概要

農事組合法人は、地区の農業者が組合員となっており、現在の代表理事は区長を兼任するとともに、自治会の評議員、生産組合長といった多くの役員が同法人の組合員である。このため、地区の文化祭・体育祭等の行事の運営等において重要な役割を担っている。また、地区内のみならず、県や市をはじめとする行政機関、JA、高校、農業大学校と連携し、活動の分野を広げている。

3. 団体の取組み

農作業の作業受委託を幅広く行い、土づくりやPR活動による基幹作物である米のブランド力向上、加工部(女性加工グループ)による加工品開発・販売による収益力の向上等地域の食文化等の継承にも貢献。

関東圏の大手スーパーにおいて新米の店頭試食等を行い、県内外の業者と取引を拡大するとともに、法人のホームページ開設や楽天市場等での販売に加え、収益拡大のため海外へ新たな販路を確保。

地元高校や農業大学校と連携して田植えや稲刈り等の体験学習や研修生の受け入れ等を通して食育活動にも取組み、地域内外に関わらず、地域コミュニティの中心的な存在として、幅広く活動を展開。

緑肥として植栽しているクリムソクローバーが開花する田園を背景にお祭り(春の花まつり)を開催し加工部(女性加工グループ)による田舎料理の振る舞いや、加工品を販売し、都市住民との交流を図り、庄地区のファンづくりに積極的に取組み地域活性化に寄与。



地元高校生による稲刈り



加工部による加工品開発



春の花まつりの様子